



笠原 則孝

厳しい財政状況が続く国民健康保険特別会計。今後の対策は

町 税金不足を賄うため

国民健康保険税の値上げはやむを得ない

Q 国民健康保険特別会計の歳出額は、平成20年度の約28億円から、今年度は38億円程度になると予想される。団塊の世代が高齢化する平成30年ごろには、さらに多額の歳出が見込まれる。今後どのように運営していくのか。

〈町長〉 平成20年度から赤字が続いており、国保会計の財政調整基金は平成22年度に底をつき、ほぼない状態である。繰越金も年々減少しており、状況は大変厳しい。国民健康保険税は、「医療分」「後期高齢者支援金分」「介護納付金分」の3本立てとなっており、医療

分は何とか黒字で推移しているものの、ほか2本が赤字となっている。平成14年度から保険税を据え置いていたが、見直しを行う予定である。どの程度の値上げになるかは、今後検討していく。

Q 玉村町の東西を結ぶ東毛広域幹線道路（国道354号バイパス）が開通した。接続するアクセス道路の整備計画を問う。

〈町長〉 南北を結ぶ町道3路線の整備を進めている。齊田上之手線は、バイパスから新滝川までの900メートルを今年度中に完了させる。町道220号線は、引き続き東部工



整備中の齊田上之手線（学校給食センター付近）

業団地までの850メートルを整備する。町道2077号線は、齊田上之手線以北の約420メートルについて測量設計等に着手した。

Q 農業用水路にゴミ等が投棄されている。改善策は。

〈町長〉 かんがい期を前に、工場や区民等へ注意喚起をしている。水利組合や地域が連携し、周辺の環境を整える取り組みも実施した。また、濁水期は防火用水としての通水をお願いしているところである。

超高齢化社会への対応はいかに

町 地域包括ケアシステムを構築していく



島田 栄一

Q 2025年問題が話題になっている。この年には4人に1人が75歳以上になり、医療費・介護費は膨大な額となる。当町はどう対応するか。

〈町長〉 国においても「医療・介護総合確保推進法」が成立し、ガイドライン等が示されている。当町も、県や関係機関と連携し、地域包括ケアシステムの構築に向け、業務を進めていく。

Q ふれあいの居場所づくりはどのように進捗しているか。

〈町長〉 現在4場所のふれあいの居場所から申請があり、補助金の交付決定を行った。さらに3カ所から申請がありそうである。町としても、地域住民の連携強化のため、しっかりとバックアップしていきたい。

Q JAたまむら支店が来年4月に新装オープンし、しばね支店・じょうよう支店が閉店になる。歴史あるしばね支店の跡地を町で買い取ってもらえないか。



渡 辺 俊 彦

たまむら道の駅（仮称）周辺の 交通安全対策を早急に行うべきだ

町 交差点改良や町道の一部拡幅を行い
地域住民の安全を確保する

Q たまむら道の駅（仮称）が建設される場所は、敷地の北側が東毛広域幹線道路（以下「広幹道」）に面しており、東側には南北を走る町道がある。

駐車場はこの町道を挟んで東側に設ける計画となっているが、広幹道と町道は交差点になり、道の駅の出入り口付近は非常に危険になると予想される。町の交通安全対策を問う。



地域住民の生活道路となっている
たまむら道の駅（仮称）東側の町道

〈町長〉 広幹道から道の駅へ安全に進入できるように、出入り口交差点への信号機の新設について群馬県警本部へ要望を行っている。また、広幹道と町道との交差点改良及び道の駅東側町道の一部拡幅を行い、大型車両でも安全に進入できるスペースを確保する。これにより地域住民が安全に広幹道を横断できるものと考えている。

Q たまむら道の駅（仮称）の出入り口は東側だけが、利便性向上のための対策や地域整備が必要ではないか。

〈町長〉 西側から車両進入スペースを設ける

ことは難しい。今後、道の駅出入り口の増設などを検討するのに当たり、周辺道路や主要道路からスムーズな誘導ができるルート選定、大型車両も対応できる幅員確保を検討する。

Q 災害発生時ににおける町の備えと対応は。

〈町長〉 ハード面では、道路・橋梁・水道管の整備、雨水対策など全ての事業が、災害発生に備えた対策と考える。ソフト面では、今後、地域防災計画の見直しを考えている。また、緊急速報メールによる緊急情報一斉配信の仕組みを確立した。



〈町長〉 J Aの動向を見ながら、十分検討したい。

Q 住民は、会議室がなくなることを心配している。社会福祉協議会の事務所を誘致し、会議室を住民に利用させていただければ一石二鳥ではないか。

〈町長〉 慎重に検討してみたい。

Q たまむら道の駅（仮称）の進捗状況はどうか。
〈町長〉 順調に進捗している。

※「地域包括ケアシステム」介護が必要になった高齢者も、住みながら自宅や地域で暮らし続けられるように、「医療・介護・介護予防・生活支援・住まい」の5つのサービスを一体的に受けられる支援体制のこと



ふれあいの居場所の一つになっているグラウンドゴルフ大会